

令和3年度 事業報告

1 法人の概要

(1) 建学の精神

「産学一體」の理念の基、社会に貢献しようとする強い使命感と豊かな人間性を備えた人材の育成

(2) 教育目標

1 人間力の育成

- (1) 強健な身体と健全な精神の上に豊かな情操を兼ね備え、真に勤労を愛する人材を育成する。
- (2) 明朗で誠実な心を育て、協調性に富んだ責任感の強い人材を育成する。
- (3) 正しい人生観、世界観を確立できるようにし、社会への奉仕を厭わない人材を育成する。
- (4) コミュニケーション能力を向上させ、世界に通用する人材を育成する。

2 考える力の育成

- (1) 不撓不屈の精神で、創意工夫し課題解決できる人材を育成する。
- (2) 新しいことに積極的に挑戦できる進取の精神を持った人材を育成する。
- (3) 自ら進んで考え、行動できる創造力豊かな人材を育成する。

(3) 沿革

昭和16年3月	財団法人 相川学園設立認可 静清工業学校機械科設置認可 理事長 相川繁吉氏、校長 諏訪広吉氏就任
16年5月	開校式(静岡市、柚木)
18年4月	校舎第一期工事落成
20年1月	校長 柴田栄一氏就任
20年4月	理事長 神戸 陽氏就任
22年4月	新学制により静清中学校設置許可
23年3月	校長 相葉 繁氏就任 学制改革により新制高等学校「静清工業高等学校 全日制 工業科」設置 理事長 相川 繁吉氏就任
24年3月	理科室・製図室落成
25年4月	私立学校法により学校法人許可
25年10月	創立10周年記念式挙行
27年4月	電気通信科設置
28年4月	校長 中村満雄氏就任
28年9月	理事長 相川繁吉氏欧米視察
29年3月	電気通信科実験室落成
29年10月	理事長 相川繁吉氏産業教育功労者として県より表彰を受ける
31年10月	創立15周年記念式挙行
32年4月	校長 臼田 行夫氏就任
33年5月	理事長 相川繁吉氏再度米国視察
33年11月	理事長 相川繁吉氏産業功労者として県より表彰を受ける
34年4月	理事長 相川繁吉氏藍綬褒章を受ける
34年6月	機械科実習工場落成
36年4月	定時制機械科設置認可
37年11月	創立20周年記念式挙行
39年11月	理事長 相川繁吉氏第3回欧米視察
43年4月	理事長 相川繁吉氏勲三等瑞宝章を受ける

- 44年 4月 校長 清水明氏就任
- 44年 8月 公認 50m プール完成
- 46年 3月 新校舎竣工 (藤枝市潮)
- 46年 3月 電気科設置認可
- 46年 4月 新校舎で昭和 46 年度授業をはじめ
- 46年 11月 創立 30 周年・新校舎落成記念式挙行
- 51年 10月 相川学園 野球ホーム完成
- 55年 4月 第 3 種電気主任技術者免状資格有 (昭和 54 年 3 月以降電気科卒業者)
- 55年 10月 室内練習場 (優秀館) 完成
- 56年 4月 校長 市川高明氏就任
- 57年 2月 機械科実習棟完成
- 58年 11月 パソコン室完成
- 59年 6月 体育館完成
- 60年 7月 第 67 回全国高等学校野球選手権静岡大会準優勝
- 61年 2月 運動場自動散水設備完成
- 61年 8月 定時制機械科廃止認可
- 61年 10月 パソコン室移設・拡張 (現第 2)
- 63年 3月 野球場完成
- 平成元年 8月 駐輪場完成
- 元年 10月 運動部・音楽部部室完成
- 3年 11月 創立 50 周年記念式挙行
- 3年 12月 パソコン室完成 (第 1)
- 4年 7月 第 74 回全国高等学校野球選手権静岡大会準優勝
- 4年 8月 理事長 相川叔彦氏就任
- 6年 6月 創立者 相川繁吉胸像除幕式
- 7年 3月 電気科実習棟「家庭科施設・図書施設併設」完成
- 9年 1月 ハンドボールコート完成
- 15年 4月 校長 池田靖氏就任
- 17年 3月 静清高田グラウンド取得
- 17年 7月 第 87 回全国高等学校野球選手権静岡大会優勝
- 17年 8月 野球部甲子園初出場
- 17年 10月 第 60 回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」野球部出場
- 18年 4月 校長 増田健吉氏就任
- 20年 4月 校長 酒澤政明氏就任
- 21年 4月 理事長 相川雅紀氏就任
- 21年 7月 普通科設置認可
- 21年 12月 新学生寮 (学生館) 完成
- 22年 4月 理事長 清水政文氏就任
普通科設置に伴い校名を「静清高等学校」に変更
- 23年 3月 野球部甲子園選抜大会初出場
- 10月 理事長・校長 酒澤 政明氏 就任
- 28年 11月 第 69 回全日本バレーボール高等学校選手権 静岡県大会優勝
- 29年 1月 第 69 回全日本バレーボール高等学校選手権大会 (春高バレー) 初出場
- 29年 11月 第 70 回全日本バレーボール高等学校選手権 静岡県大会優勝
- 30年 1月 第 70 回全日本バレーボール高等学校選手権大会 (春高バレー) 出場
- 30年 4月 文理探究科・工学探究科へ学科編成
- 30年 11月 第 71 回全日本バレーボール高等学校選手権 静岡県大会優勝

31年1月 第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）出場
 令和3年5月16日 第80回創立記念日
 令和4年3月14日 新校舎落成式挙行
 令和4年4月1日 校長 小関 直樹氏 就任
 共学化に伴い、工学探究科を分類（Ⅰ類は男女、Ⅱ類は男子のみ）

(4) 生徒数の状況（令和4年5月1日現在）

学校名	科名	学則定員	現員数
静清高等学校	文理探究科	120人	68人
	工学探究科	600人	508人

(5) 理事・監事の概要（令和4年5月1日現在）定員数理事7名・監事2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	適用
理事長	濁澤 次美	常 勤	平成21年10月1日就任 令和2年5月29日理事長就任
常務理事	小関 直樹	常 勤	令和4年4月1日校長職就任
	兒島 良孝	非常勤	平成29年12月11日就任
	小島 登	非常勤	平成29年12月11日就任
	大竹 茂樹	非常勤	平成30年5月13日就任
	長坂 博文	常 勤	令和2年5月29日就任
監事	山田 知広	非常勤	平成30年5月13日就任
	木内 和彦	非常勤	平成22年5月13日就任

(6) 評議員の概要（令和4年5月1日現在）定員数15名

氏名	就任年月	主な現職等
濁澤 次美	平成21年10月	理事長
大竹 茂樹	平成21年4月	会社役員
小島 登	平成29年12月	会社役員
濁澤 光宏	平成30年5月	会社役員
酒澤 政明	平成18年5月	相談役
曾根 正明	平成30年5月	教員
長坂 博文	令和2年5月	事務長
藪崎 雄大	令和2年5月	教頭
山木 繁男	平成21年10月	会社員
大代 三男	平成23年10月	会社員
藪崎 仁志	平成26年5月	会社員
小林 真	平成30年5月	会社員
桑原 克之	平成20年4月	会社員
鈴木 明	平成20年4月	会社員
原田はるみ	平成29年5月	会社員

(7) 令和3年度 法人理事会・評議員会開催結果

第1回理事会（令和3年5月26日14:15～15:40）

- ・令和2年度事業報告
- ・令和2年度決算書報告、及び監事による会計監査報告について
- ・校舎改築進捗状況等報告について

- ・給与規程一部改正（案）について

第2回理事会（持ち回り（書面）臨時理事会令和3年7月6日）

- ・本館新築工事に係る借入金について変更（案）
- ・女子寮 建物建築（案）について
- ・令和3年度第1回補正予算（案）について
- ・令和2年祖第2回補正予算書（案）について
- ・その他（理事長より令和4年度からの男女共学について）

第3回理事会（令和3年12月17日13:55～15:30）

- ・令和4年度教育事業（案）について
- ・教科課程等一部改正について
- ・校舎改築進捗状況等報告について
- ・令和3年度第2回補正予算（案）
- ・校長職交代（案）等について

第4回理事会（持ち回り（書面）臨時理事会令和4年2月17日）

- ・借入金について変更（案）

第5回理事会（令和4年3月23日15:00～15:40）

- ・学則の一部改正（案）について
- ・本館新築進捗状況について
- ・令和3年度第3回補正予算（案）
- ・校長職交代（案）等について
- ・令和4年度事業計画（案）について
- ・令和4年度当初予算書（案）について

第1回評議員会（令和3年5月26日13:30～14:10）

第2回評議員会（令和3年12月17日13:00～13:50）

第3回評議員会（令和4年3月23日13:30～14:15）

(8) 教職員の概要（令和4年5月1日現在）

	区 分	人 数
教 員	常 勤	37 人
	非常勤	23 人
職 員	常 勤	8 人
	非常勤	9 人

2 事業の概要

(1) 本館建て替え

本館新築工事に係る入札を行い建築業者には竹中工務店（株）・鈴与建設（株）共同企業体に決定した。令和2年11月9日工事請負契約書にて契約を結ぶ。着工令和2年12月1日、完成

令和4年11月30日。本館の竣工は令和4年2月末日となり、3月14日に落成式を挙行了た。引越し作業ののち、4月から男女共学と同時に使用を開始した。

(2) 人づくり

「社会から求められる人材を育成する」を学校評価目標とし、生徒課・教務課を中心に「思考力」「判断力」「表現力」の身についた人間作りを実行し、社会を生き抜く力と人を思いやる優しい心を兼ね備えた人材育成が行われた。

(3) 進路指導実績

学校力を問われる進路は、「行ける進路」から「行きたい進路」を目標とし進路課を中心に全職員をあげて多様な生徒の希望に応えることができるようになった。授業はもとより、ゼミ、補習の強化が結果を後押しし、効果を上げている。就職希望者も同様で、積極的な資格取得、きめ細やかな職員の指導と企業との強い信頼関係により、本年度も就職内定率は100%となった。

(4) 文理探究科

習熟度別、少人数制の授業構築が行われている。これにより従来の一方的な受け身の授業から、生徒一人ひとりに合った、生徒主体の授業展開となっている。プロジェクターやスマートフォン、PCを利用したICT教育も行われ、コロナ渦でもZOOM等を利用した遠隔授業で学習の遅れが起こらない工夫がなされた。これは、教員のスキルアップになり指導力、授業の効率が向上した。結果として上記(3)の進路実績につながった。

(5) 工学探究科

就職率100%を継続している工学科において、将来を見添えた中で生徒への最善の授業を展開する。コース制の採用により、各コースの特性を生かした興味を引く取り組みが行われており、教員の指導力、スキル向上が見られた。

ア 機械システム工学コース

中堅技術者の育成のため、実習などの体験型、少人数授業を行い経験、実践しながら知識、技能を習得させることができた。生徒に積極的に資格取得に挑戦させるための雰囲気づくりと取得のためのフォローができた。

イ 電機システム工学コース

動力が、エンジンからモーターへ世界が移行しているなか、今後、電気システムコースの役割は大きくなっている。電気工事士の資格取得に力を入れ、授業では本校独自科目の「電気工事」を設定し放課後には補習を行うなど対策を支援している。

ウ メカトロニクス・情報工学コース

急速に伸びる情報化社会に対応するため、コンピューター操作の基礎・基本からハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク技術、プログラミングまで進路に合わせ幅広く授業展開が行われている。

(6) 中学生募集活動の強化(学校説明会・体験入学会 令和3年8月~12月 計4回実施)

募集定員充足に努力し、令和4年度入学者239名、うち女子31人の成果があった。

(7) スクールバスの運行の強化

これまでの「学校⇄相良」「学校⇄焼津駅」「学校⇄大井川庁舎」便に加え、令和4年度から「静岡高等学校通学等安全支援の会」の下に有料化し、「学校⇄清水・静岡」「学校⇄金谷・島田・藤枝」便の運行に向けた計画を進める。今後も通学の安全と利便性の向上を図る。

(8) 財政の健全化

1 学年定員 240 名に対し、令和 3 年度入学生は文理探求科と工学探究科合計 181 名と充足率は約 75%に留まり、昨年度比横ばいの状態であった。経常費の節減に努め財政の健全化を図ることを継続している。

(9) 教育環境

校内の住環境・教育環境の整備を一層進めている。

(10) 学校改革

絶対的生徒数の減少の中で、生徒を確保しつつ「入れる高校」から「入りたい高校」への転換のとりかかりに努力した。令和 4 年度募集からの女子生徒受け入れ、新校舎・新制服・新コースの設立、スクールバス事業の整備他の広報活動募集活動の見直し、新学習指導要領への対応や先進教育の導入など本校の教育全般を見通した大きな改革を検討し、令和 4 年度以降の実施を計画できた。

(11) 教職員の適正確保

令和 3 年度においては、令和 4 年度の各教科授業数、クラス数に見合った適正な教員の確保を採用することができず、常勤教員数も不足し、大きな負担となっている。計画的人事採用計画のもとに各大学、私立高校、県立高校との情報交換を密に募集活動をする必要が生じている。

4 新入生募集結果（令和 4 年度入学実績）

新入生合計 239 名

「文理探究科」 (男女) 8 名

「工学探究科」

I 類 (男女) 69 名

II 類 (男) 162 名

工学探究科計 231 名

5 その他

(1) 当該年度の重要な契約はない。新校舎の環境整備、教育事業の充実を図る。

(2) 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事項はない。